

生誕110年記念
初山滋
大回顧展

色彩と線の詩人がおりなす
モダニズムの世界


『にんぎょひめ』より「トッパンのおはなしえほん」(フレーベル館)1967年

2007年11月21日(水)～2008年1月31日(木)

同時開催:ちひろの構図一色・線・形

 ちひろ美術館・東京

2008年3月1日(土)～5月13日(火)

 安曇野ちひろ美術館

【主催】ちひろ美術館 【協力】初山斗作、城田三茶 【後援】絵本学会、(社)全国学校図書館協議会、(社)日本国際児童図書評議会、日本児童出版美術家連盟、(社)日本版画協会

CHIHIRO ART MUSEUM

生誕110年記念

初山滋 大回顧展 — 色彩と線の詩人がおりなすモダニズムの世界 —

大正から昭和にかけて「おとぎの世界」や「コドモノクニ」などを中心に日本の子ども本の美術の世界で活躍した初山滋。その流麗な線と美しく繊細な色彩は人々を魅了し、いわさきちひろをはじめ、後人に大きな影響を与えました。

本展は初山滋の生誕110年を記念して、初山滋の遺作600点の中から、水彩画、木版画、漫画、造本、装丁等、多岐にわたる仕事を、絵本や絵雑誌、教科書の原画や版画など約100点の作品を中心に展示します。また、あわせて、残された貴重な遺品や資料を紹介、浅草草子の粹人、初山の素顔とその人生を振り返ります。時代を越えて、古びることなく輝きつづける初山滋のモダニズムの世界をお楽しみください。


初山滋 (1897-1973)

1897年、東京浅草に生まれる。小学校卒業後、染め物屋に奉公に入り、後に日本画家の井川洗厩に学ぶ。1916年(大正5)「少年倶楽部」の口絵に「月下悲曲」が掲載される。大正デモクラシーの気運のなかで次々と創刊された芸術性の高い児童童話雑誌のひとつ「おとぎの世界」の表紙絵を描き、以後、「コドモノクニ」に代表される絵雑誌や『日本童話選集』『未明童話集』などの単行本にも多くの絵を描いた。1927年、武井武雄、岡本帰一らと日本童画家協会を結成。西欧の新しいさまざまな美術思潮に刺激を受けながらも、日本の装飾画や大和絵、浮世絵の伝統と美意識をその根幹に据え、独創的な仕事を展開した。第二次世界大戦中は、戦争を推し進める国策に積極的に協力しなかったこともあり、子どもの本の仕事が激減するが、この時期に木版画の制作に集中した。戦後、1946年(昭和21)に「日本童画家会」の結成に関わり、自ら事務局を担って、展覧会や童画家の著作権の保護のために奮闘した。

【協力】大阪国際児童文学館、国際こども図書館、弥生美術館、島田コレクション、岩波書店、河出書房新社、至光社、福音館書店、フレーベル館

●2007年11月21日、河出書房新社より『初山滋』出版。

2007年11月21日(水)～2008年1月31日(木)

 ちひろ美術館・東京

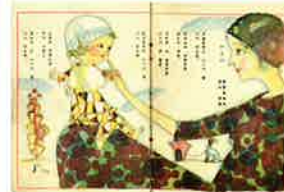
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 テレホンガイド:03-3995-0820 Tel.03-3995-0612 FAX 03-3995-0680

●開館時間＝10時～17時 ●休館日＝月曜日(祝日は開館、翌日休館) ※年末年始:12月28日～1月1日、冬期休館:2月1日～29日/展示替えのための臨時休館あり ●入館料＝大人800円、高校生以下無料/団体(有料入館者20名以上)、障害者手帳をお持ちの方および介添の方、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/視覚障害のある方は無料 ●交通＝西武新宿線 上井草駅下車徒歩7分、JR中央線 荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線 石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分 ※駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)

このチラシをご持参の方は、「初山滋展」会期中、2名まで、ちひろ美術館・東京の入館料が100円引きとなります。




『たなばた』より「こどものとも」
(福音館書店) 1963年



上段左から:「チョコチョコ」1960年代、原題不明 昭和15～24年、「おはなのトンネル」『ひかりのくに』11巻4号(昭和出版)1956年4月、出典不明/中段左から:「小学新国語六年下」(光村図書出版)1964年、「しろうがくしんこくごねん下」(光村図書出版)1965年、「赤い靴」より「トッパンの絵物語アンデルセン童話1」(フレーベル館)1954年、「ニュートン」出典不明 1920年代、「あめがふる」出典不明 1940年代/下段左から:出典不明 1930年頃、「ハーハ」『コドモノクニ』6巻9号(東京社)1927年9月

2008年3月1日(土)～5月13日(火)

 安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原 テレホンガイド:0261-62-0777 TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774

●開館時間＝9時～17時(GW・8月は18時まで) ●休館日＝第2・4水曜日(祝日は開館、翌日休館)、冬期休館:2007年12月1日～2008年2月29日 ※GW・8月は無休/展示替えのための臨時休館あり ●入館料＝大人800円/高校生以下無料/団体(有料入館者20名以上)、障害者手帳をお持ちの方および介添の方、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/視覚障害のある方は無料 ●交通＝電車の場合…JR大系線「信濃松川」駅よりタクシー3分・レンタサイクル7分・徒歩30分/車の場合…長野自動車道「豊科」J.C.より約30分/高速バスの場合…新宿西口バスターミナルより 新宿⇄白馬線利用「安曇野松川」停留所よりタクシー5分

<http://www.chihiro.jp/>